

## 2026年度 シラバス

科目名	単位数	担当教員
教育のユニバーサルデザイン特論（R8認定通信）	4単位	阿部 利彦
<b>テキスト</b>		
(1) 阿部利彦(2017),『通常学級のユニバーサルデザイン・スタートダッシュ Q&A55』, 東洋館出版社 ISBN:9784491038551		
(2) 阿部利彦(2017),『決定版!授業のユニバーサルデザインと合理的配慮』,金子書房 ISBN:9784760828395		
(3) 阿部利彦(2015),『通常学級のユニバーサルデザイン・プランZero2 授業編』, 東洋館出版社 ISBN:9784491031576		
<b>科目の概要</b>		
教育のユニバーサルデザインとはより多くの子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインである。さまざまな学びや行動につまずきを持つ子が、学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫である。本科目では、おもに、①通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをも支える授業づくり、学級づくり、②合理的配慮(知的障害、学習障害、LD、ADHD等への支援を含む)と教育のユニバーサルデザインの融合による支援のあり方、③ユニバーサルデザインに関わる教育の動向(海外も含む)、に関して検討・考察する。		

### I 科目の目的・ねらい

1. 教育のユニバーサルデザイン化について理解する。
2. 教育のユニバーサルデザインと個別最適な学び、協働的な学びについて理解する。
3. 視覚化・焦点化・共有化の視点をいかした授業実践について考える。

### II 授業計画と評価

- 第1回 ユニバーサルデザインとは何か
- 第2回 教育のユニバーサルデザインとは何か
- 第3回 合理的配慮・基礎的環境整備とユニバーサルデザイン
- 第4回 支援の3層構造とは
- 第5回 学び手のつまずきを想定する
- 第6回 授業のユニバーサルデザイン～視覚化、焦点化、共有化の視点で
- 第7回 授業のユニバーサルデザイン～5つのテクニック
- 第8回 授業のユニバーサルデザインとARCSモデル
- 第9回 授業のユニバーサルデザインと個別最適な学び
- 第10回 各教科における授業のユニバーサルデザイン
- 第11回 教室環境のユニバーサルデザイン
- 第12回 人的環境のユニバーサルデザイン
- 第13回 協働的学びと共感を高める学級づくり
- 第14回 ペア、グループ演習における配慮

**第15回 学びのユニバーサルデザイン(UDL)**

**科目修得試験**

評価については、レポート50%、科目修得試験50%の割合で行う。

**III 参考文献**

柘植雅義(2014),『ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり』,金子書房

**IV その他**

特記事項なし